



口絵 1 災害前（1981（昭和56）年）の水無川周辺の状況（国際航業（株）撮影）

注）写真上部が普賢岳。写真中央部上下に蛇行した線状に見えるのが水無川。写真下部の左右に線状に見えるのは国道251号、その上に広域農道、そのさらに上にやや右斜め方向に傾いて見えるのが国道57号。1993（平成5）年7月19日18時21分に発生した火砕流は国道57号の下流100mまで到達した。



口絵2 雲仙普賢岳と被災地域の全景（2003（平成15）年9月27日）  
（国土交通省雲仙復興事務所撮影提供）



口絵3 198年ぶりの噴火（1990（平成2）年11月17日）（太田一也撮影）  
注）左の噴煙が地獄跡火口、その右手前の高まりが屏風岩で右の噴煙が九十九島火口



口絵4 火砕流で火災が発生した赤松谷（1991（平成3）年12月23日）（杉本伸一撮影）



口絵5 成長中の溶岩ドーム（1992（平成4）年11月27日）（太田一也撮影）  
注）左から第8、第6、第4ロープ。中央右半に破碎溶岩丘が見られる。



口絵6 雲仙普賢岳の溶岩ドームと谷を埋めた火砕流堆積物（2001（平成13）年11月9日）（伊藤和明氏撮影）



口絵7 民家に迫る火砕流  
(1992(平成4)年9月27日)  
(杉本伸一撮影)



口絵8 1991(平成3)年6月3日  
の火砕流で多くの死者を出した北  
上木場農業研修所跡(1991(平成3)  
年11月6日)(杉本伸一撮影)



口絵9 1991(平成3)年9月15日  
の火砕流で焼失した深江町立大野  
木場小学校(1991(平成3)年11月)  
(杉本伸一撮影)

注) この校舎は火砕流災害遺構として保存さ  
れた。



口絵10 土石流に埋まった家屋(安中地区)(1993(平成5)年4月30日)  
(杉本伸一撮影)



口絵11 散水車(1993(平成5)年3月10日)(岩永時直氏撮影)



口絵12 1991(平成3)年6月3日の大火砕流で多くの報道関係者が死亡した定点でのマスコミの取材風景(1991(平成3)年5月)  
(KTNテレビ長崎提供)



口絵13 大火碎流被災者の捜索活動に向かう自衛隊（1991（平成3）年6月4日）（岩永時直氏撮影）



口絵14 立ち入り禁止の看板（1993（平成5）年3月9日）（杉本伸一撮影）



口絵15 避難所（1991（平成3）年5月）（島原市提供）



口絵16 集団避難をしていた被災住民を一時的に受け入れた客船「ゆうとぴあ」  
(1991(平成3)年6月)(島原市提供)



口絵17 応急仮設住宅(1992(平成4)年7月28日)(島原市提供)



口絵18 救援物資の衣類の配布状況  
(1991(平成3)年8月4日)  
(杉本伸一撮影)



口絵19 住民に無償貸与された  
防災無線戸別受信機(2006(平成18)  
年11月)(杉本伸一撮影)



口絵20 火山灰の積もるびわ  
(1992(平成4)年5月)  
(岩永時直氏撮影)





口絵21 住民説明会（1993（平成5）年3月10日）（杉本伸一撮影）



口絵22 被災者集団移転先の仁田団地（島原市提供）



口絵23 無人化施工による警戒区域内での除石  
(1994(平成6)年4月11日)(松井宗廣撮影)



口絵24 無人化施工の遠隔操作作業状況  
(1994(平成6)年4月11日)(松井宗廣撮影)



口絵25 水無川導流堤、砂防ダムと普賢岳(2006(平成18)年8月23日)(松井宗廣撮影)



口絵26 ふるさとの木による森づくり（2001（平成13）年5月）（杉本伸一撮影）



口絵27 雲仙岳災害記念館（2002（平成14）年6月）（雲仙岳災害記念館提供）